

中学生も参加して最後の議論



最後に全員で集合写真

第三回デザインワークショップ

十二月十日(土)の夜、大社文化プレイスうらら館にて、第三回デザインワークショップを開催しました。地元の大中学校の生徒も多く参加し、照明の明るさの確認、坂道のデザイン、ポケットパークなどについて議論しました。

神門通りの道づくり

其の

十

平成 23 年
12 月 27 日

島根県
出雲県土整備事務所
都市整備グループ
電話：30-5666

最終回となる今回のワークショップでは、前回と同様に会場のうらら館から、神門通りに参加者全員が移動し、前回の課題であった照明の明るさを実物大の照明模型(実際に点灯)をもとに確認しました。

会場では、照明についての意見を聞いたのち、前回のワークショップ以降に設計が進んだ坂道部のデザイン、一畑電車出雲大社前駅に隣接するポケットパークのデザインについて、デザイナーの小野寺康さん、南雲勝志さんによる詳しい説明ののち、参加された方から意見をいただきました。

約二年にわたって、神門通りのワークショップに関わって来られたコーディネーターの桑子敏雄教授からは、この通りのコンセプトとして「祈りの道、そして出会いのまち」がふさわしいのではないか、と締めくくられました。

参加者からは、このワークショップを通じて「神門通りについて住民も参加して話し合えてよかった。」「ワークショップに参加して、皆で街を良くしようとする気持ち(郷土愛)がとても伝わり、うれしく思った。」などの意見が出されました。



神門通りで照明の明るさを確認

照明についての意見

※半数以上の方が今回、現場で見た照明の明るさについて、○(よい)という意見を書かれました。

<明るさ>

- ・情緒があってよい。
- ・ちょうどいい明るさ。
- ・前回より柔らかい光になって良いと思う。
- ・灯りの明るさも落ち着いて、神々しい感じが出てとてもよい。
- ・少し暗いのではないか。
- ・明るさが少なく、観光客が照明に興味を持ってくれないと思う。
- ・ライトが弱くなり、飾りでしかなくなった。観光客の安心感につな

がらない。

- ・街並の民家の明るさが大鳥居付近、中央付近、坂道部で違うが、外灯の明るさは変えるのか?
- ・水銀灯を消した状態での比較がどうなるか心配。

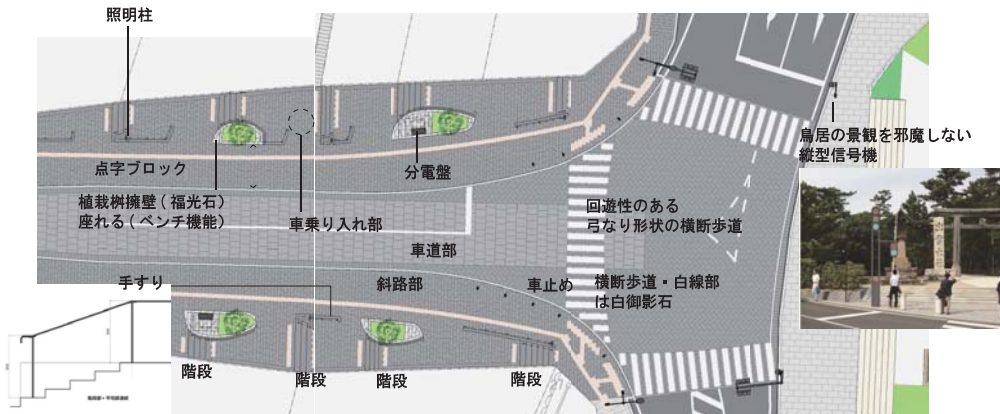
<照明柱について>

- ・「神門通り」の文字は必要か?
- ・街灯の高さはもう少し低くてもいい。
- ・間隔をもう少し広げたほうがいい。
- ・自転車や自動車の衝突対策は?
- ・強風にも耐えられるのか?

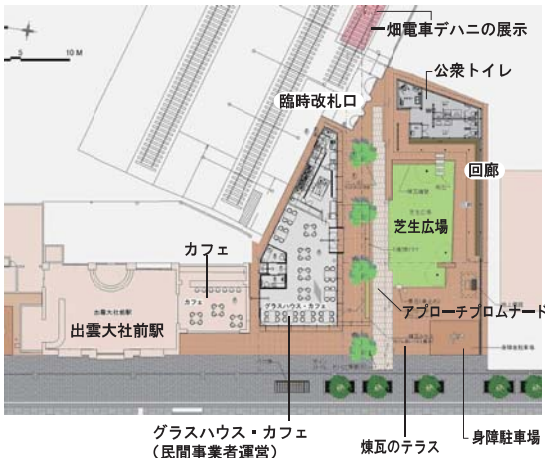
フットライトについては、沿道の店舗、住居のみならず車の出入り等に不都合があるという意見が多く出されたこと、松の根元の保護の必要性などから、通り全体で設置をしないこととしました。(坂道部は階段にフットライトが入ります)

＜第3回ワークショップで新たに提示された計画箇所＞

坂道部の計画



ポケットパークの計画



サインのデザイン



計画に対しての意見、提案 ……今回提示した坂道部、ポケットパークを含め計画全体

※参加者から出された意見（付箋）の抜粋です

観光のアイデア

- 街の景観を整えただけではリピーターが出ない。それ相応の土産物屋や宿泊所の整備が必要不可欠。
- 神門通りから出雲大社にかけてのガイドが必要。
- 写真撮影の好スポットを案内版に表示してはどうか。
- 大社の大鳥居をきれいに撮れる撮影スポットを示した石材を石畳の中に所々埋め込めば人が歩きたくなくなるのではないかな。
- 温泉旅館を建てるか温泉スタンドの温泉を全ての旅館に引く。

にぎわいづくり

- 神門通りで行われるイベントをもっと増やしてほしい。
- イベントの際土日祝のみ9:00～16:00まで歩行者天国。
- 出雲大社以外の大社町の名所のPRもすればリピーターも増えると思う。（稲佐の浜、地元の郷土料理、阿国等）
- うらら館や吉兆館でイベントをやれば、そちの駐車場から神門通りを歩いてもらえると思う。

道路デザイン・材質

- 石畳の車道は、ゴツゴツしていて、車内に騒音が響く可能性がある。
- 歩道の石畳で、点々と黒っぽい石畳を配置するのではなく、雲のようなちよつとした模様をつける。
- 子供も大人も行きたくなくなるようなものが1つくらいあっても…。例えばポケットパークにブランコなどの遊具とか。
- この通りに黄色っぽい点字ブロックはあまりイメージができませんので、他の色でも良いのではないかな。

安全対策

- 歩道が広がった分、店舗前に停めて買物する観光客が増えている。特に交差点付近が多く、危ないことがある。

サイン整備

- 看板について、鉄製ではなく、木製がよいのではないかな。古い街だから風情があると思う。
- 交通広場に設置されているトイレの表示が特に北進する際には非常にわかりにくい。改善を望む。

ポケットパーク

- ポケットパークの広場に子供が遊ぶことのできるものを作ったほうがよい。
- ポケットパークに足湯のようなものを作れないかな。
- ポケットパークに同じようなカフェが二つもいるのか？
- パンフレットなどを置くのとゆっくり見ることができるのではないかな。もしくは案内板のようなものを。路面のデザインはともいいと思う。

街路灯

- 街灯の灯り部をアクリル板にするのこのだが、道側と町側で色を変えられないかな。

植栽・植栽枿

- 松の雨水を受ける所（グレーチング）も丸みを帯びさせたらいいと思う。
- 植栽マスに置かれる鉄フタについて、松葉等の掃除は地元の方が行うが、簡単に取り外しが出来るものかどうかな。
- 松の両側の金属（グレーチング）は、水が溜まらないか？すべらないか？錆びないか？

勢溜

- 勢溜前の交差点はとても柔かい感じで良い。
- 大鳥居から見る勢溜というのが一番いい景色だと思うので、石畳ではその景観がどうなるか心配。

宇迦橋

- 宇迦橋の高欄を木造調で、建物修景と一本化したらGOOD。撮影スポットとしても出会いが生まれるのでは。
- 宇迦橋の歩道がとても狭く、自転車で通るときとても危ないので、整備してほしい。

周辺道の整備

- 吉兆館から大鳥居までの間も早急に改善が必要と強く思えた。

交通規制・交通ルール

- 土日祝の10:00～16:00を歩行者天国にする。
- 大型通行禁止や歩行者天国など常時でなくとも歩車共存の方法もいろいろ考えてやってみてほしい。
- 大型バス一方通行義務化がいい。

北山について

- 大鳥居から神門通りを見たときに北山の松くい虫がとてもぶさいく。

住民の視点

- 観光客目線の投資もよいが、住民の邪魔にならないように。

これからの進め方

- ハード面では素晴らしい形になったが、ソフト面が重要であり、そのため補助メニューをもっと増やしてほしい。
- 出店の助成は必要だが、地元根付いた事業経営を求めたい。簡単に撤退されると、街がまた衰退する。

会場での意見交換



●照明の明るさ、デザイン

南雲 - 今日現地で見させていただいたのは、2本だけなので、寂しいという印象があって当然。最終的には道の両側あわせて40本弱立つ予定。照明間隔は20～40メートルぐらいが基本で、今日の現場確認は20メートル。松の関係もあって等間隔では出来ない。場所によっては50メートルのところもある。

桑子 - 去年の話し合いの中で松並木を大事にという意見が多かった。照明をつくるにしても、等間隔ではなくて松を保存するような形でつくっていく。

南雲 - 照明の高さは、人から見て威圧感の無い高さ。低くしすぎると通りとして明るいと暗いところの差が大きく出すぎる。適度に明かりを広げるにはある程度の高さが必要。

照明に「神門通り」という名前を見せるデザインとしているが、神門通りは、沿道だけでなく出雲全体の表参道として全国に発信すべき名前だと思う。全国から多くの方が来られるし、住んでいる方には誇りに出来る。

参加者 - 文字板は、照明の片方の面だけでなく、両面にあってもいい。

●既存の街灯はどうなる？

南雲 - 今ある街灯は電柱についているものが多い。電線を地中化する結果、電柱がなくなり、自動的に今ある街灯は無くなる。単独柱（水銀灯）もあるが、それだけ残しておくアンバランスなので、既存のものはなくして新しい照明をつける。

●フットライト

南雲 - 松の両脇に設置する予定だったが、松の木の水の吸い上げが悪くなるのではないかと懸念、そして商店の前の自動車の出入り口で、使い勝手が悪くなるという意見が多く、設置を諦めた。

勢溜のほうは植え込みがあり、そこにライトがつく。神門通りとして一律ではないが、フットライトが全くゼロになるわけではない。

●駐車場の有料化、案内表示

中学生 - 神門通りを通る観光客が少ないと言うことを聞いて悲しかった。出雲大社の協力が必要だが、外苑駐車場の有料化を提案してはどうか。

島根県 - 外苑駐車場の有料化は難しい。しかし、ここばかりに車が来るのは問題だと思っている。ご縁広場・吉兆館・旧JR駅跡など近隣には駐車場がある。この駐車場を分かりやすく利用してもらえるような案内板を出雲市につくってもらい、他の駐車場も皆さんに使いやすくすることが先決。

参加者 - 駐車場の案内板に今外苑駐車場は満車であるというような表示板をつけることが出来ないか。

出雲市 - 駐車場の案内看板については、431号線の歴史博物館の東側と旧JR駅の南側に設置が出来ている。満車の表示は、大型連休の時には警備の人を置いて案内をしているが、年間通じてというのは現段階では難しい。繁忙期には対応しているので、それを増やせるようにしていきたいと思う。

●石畳のデザイン

中学生 - 石畳について、何年か経って石畳のデザインというのは変えられるのか。

小野寺 - 街づくりとか道路というのは、ファッションとは違うので、飽きたからといって変えましょうというものではない。街は服のように簡単に着替えることができない。自分はこの道が、変えたくない！と思えるような良いデザインを目指している。100年もつデザインの自信はある。

●温泉の活用

中学生 - 吉兆館に温泉スタンドがあるが、スタンドではなく、温泉施設があった方がいいと思う。

出雲市 - 道の駅大社ご縁広場の整備に合わせて、泉源の活用等を検討していきたい。

桑子 - 若い女性が足湯につかりながら出合いがあるような、そんな足湯を期待したい。

●観光バスの規制、誘導

参加者 - 観光バスの自主規制とあるが、完全規制する事はできないのか。

島根県 - 完全規制するというのはなかなか難しいが、北進一方通行の協力をお願いしている。今、8割くらいのバスが協力してくださっている。

出雲市 - 旅行会社も時間制約の中で旅行日程を組んでいるので、約800mある吉兆館から勢溜の間を往復歩いてくださいという提案も難しく、近い駐車場に停めざるを得ない場合もある。片道を歩くのが現実的で、それを定着させていきたい。

桑子 - 吉兆館からだど4つの鳥居をくぐって幸せ、拍手を4回たたいて幸せ、そういう話をアピールしてはどうか。



参加者の感想から

- 皆で街を良くしようとする気持ち（郷土愛）がとても伝わり、うれしく思った。
- 出雲大社神門通りが大社さんの顔になるようにお願いします。
- 大社の中心神門通りの道づくり街づくりに参加できて誇りに思う。
- 「住民を優先するか、観光客を優先するか」という開発について多くの意見が対立してきたと思う。でもそれがほぼ合意したのだから皆が満足できる通りになると思う。
- 大きなまちの整備の時に出会え、素敵な経験ができた。ありがとうございました。
- 前回も参加したが、石畳の上を実際に歩いてみたりして、いいと思えるものになった。照明もいい明るさだと思う。神門通りについて住民が参加して、話し合えてよかった。
- ご協力いただいた皆様、熱心に取り組んでいただきありがとうございました。

郵便はがき

6 9 3 8 7 9 0

065

料金受取人払郵便

出雲支店
承認

0039

差出有効期間
平成 24年
3月31日まで
切手はらずに
お出しください

出雲市大津町1139番地
島根県出雲県土整備事務所
土木工務部 都市整備グループ 行



該当するものに○をつけてください

- ①住所 a. 神門通り近隣 b. 大社町内 c. 大社町外
- ②性別 a. 男性 b. 女性
- ③年齢 a. 20歳未満 b. 20歳代 c. 30歳代
d. 40歳代 e. 50歳代 f. 60歳以上
- ④職業 a. 会社員 b. 自営業 c. 農業
d. 公務員 e. 主婦 f. 学生 g. その他 ()

名前 _____ 〒 _____ 住所 _____ 電話 _____

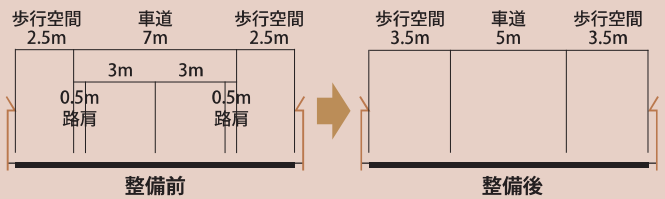
スケジュール

第1回デザインワークショップ
デザイン計画案を提示して意見、アイデアを抽出する
平成23年6月24日実施

第2回デザインワークショップ
第1回での意見を踏まえた計画案修正と現地での石材、
照明模型による確認
平成23年8月27日実施

今回
第3回デザインワークショップ
デザイン計画最終案を提示して整備に向けた合意形成を
はかる
平成23年12月10日実施

ワークショップによる幅員構成の変化



ワークショップのフロー

ワークショップを実施する上での基本方針

- 平成21年アンケート調査結果を踏まえて
- ・現道幅員12mの中で整備する
 - ・松並木の景観を活かす
 - ・無電柱化の検討

※計画範囲は勢溜～宇迦橋間

平成22年度道づくりワークショップ

【主な議論の内容】

- 安心して楽しみながら歩ける道づくりを考える
- 沿道のまちなみ景観づくりを考える
- にぎわいのまちづくりのための取り組みを考える

【議論に基づく計画内容】

- 交通安全対策
 - ・歩車共存道路（共有空間）として整備
 - ・観光バスの北進一方通行自主規制
- 勢溜交通安全対策
 - ・交差点改良（歩道、バス停、見通し改良）／信号機設置
- 景観対策
 - ・石畳舗装、電線類地中化
 - ・沿道建築物修景の基準となる「神門通りまちづくり協定」作成
 - ・景観整備補助金制度の創設
- にぎわいづくり
 - ・出店助成による新規出店支援／ポケットパーク整備の検討

社会実験の実施

平成23年度デザインワークショップ

【主な議論の内容】

- 石置・照明等の詳細デザイン
- 坂道部の詳細デザイン
- ポケットパークのデザイン

【議論に基づく計画内容】

- 石置・照明
 - ・御影石（グレー系）、大判の石材を縦向きに使う
 - ・照明は、オリジナルデザイン（鋳鉄製、清楚でしなやかな造形）
- 坂道部
 - ・店舗側は階段構造とする
 - ・沿道店舗との連携による一体的な空間づくり
- ポケットパーク
 - ・出雲大社前駅を活かしたにぎわい拠点づくり

神門通りワークショップをふりかえって

ワークショップの背景と目的

出雲大社周辺では、「出雲大社大遷宮」、古事記編纂1300年を記念する「神話博しまね」など、様々なイベントが予定されています。神門通りは、出雲大社への参詣道として約100年前に整備され、沿道は門前町として栄えてきましたが、モータリゼーションの進展に伴う通過型観光への転換などで、かつてのにぎわいが失われており、出雲大社の遷宮を見据え、門前にふさわしい風格とにぎわい・活気のある通りとして再生することをめざしています。神門通りの道路整備にあたっては、沿道住民の生活交通のための利便性と、観光客のための賑わいや安全性向上を両立することが求められています。この相反する2つの課題を解決して、沿道住民・沿道店舗・観光客といった関係する全ての主体の意見・アイデアを計画策定の参考とするために、ワークショップ方式による道路計画、出雲大社参詣道としてふさわしい景観整備を検討することを目的としました。

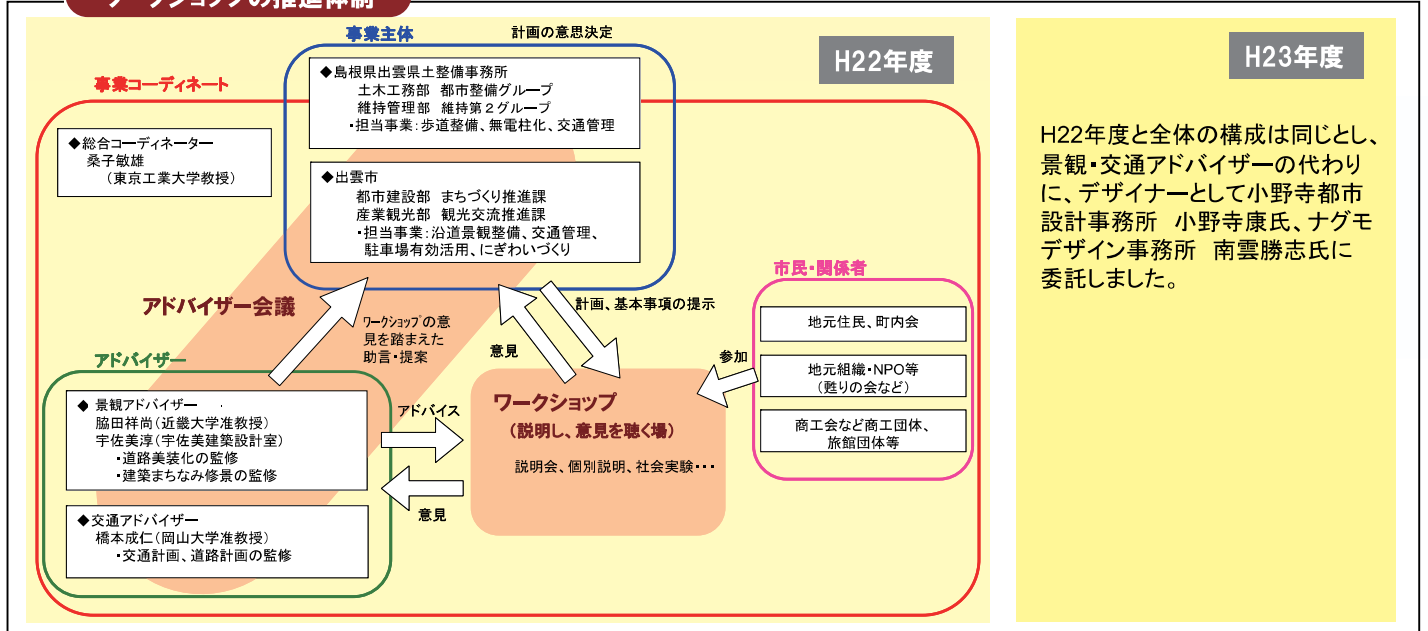
アンケート回答用紙

質問① 神門通りについてのご意見をお書き下さい

質問② ワorkshopや計画の進めかたについてご意見をお書き下さい

質問③ ご自由に意見をお書き下さい

ワークショップの推進体制



事業区間

